



ウッドデザイン賞2024を受賞 ～コミュニケーションとプロダクツの2分野で2点受賞～

ナニックジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区初台、代表取締役:甘露寺信房)は、「ウッドデザイン賞2024」を受賞しましたのでお知らせいたします。

ウッドデザイン賞(主催:一般社団法人日本ウッドデザイン協会)は、木を使うことによって、社会課題の解決を目指す活動を、「ウッドデザイン」と定義しています。「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。

当社は今回、森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象となる「ソーシャルデザイン部門」において、コミュニケーションとプロダクツの2分野で2点受賞しました。

【受賞内容】

コミュニケーション分野		
受賞作品名	受賞団体名(主たる応募者、共同応募者)	顕彰部門
自然へのホスピタリティと森の中の工場	ナニックジャパン(株)(東京都)(株)万建設興業(栃木県) 那須塩原市森林組合(栃木県)	ソーシャルデザイン部門

プロダクツ分野		
受賞作品名		顕彰部門
国産杉を活用した「スギシリーズ ウッドブラインド」	ナニックジャパン(株)(東京都)(株)万建設興業(栃木県) 那須塩原市森林組合(栃木県)	ソーシャルデザイン部門

【ウッドデザイン賞公式ウェブサイト】

<https://www.wooddesign.jp/>

【受賞の概要】

自然へのホスピタリティと森の中の工場

コミュニケーション分野

当社製品(木製可動ルーバー製品)は、自然からの恵みである「木」を主材料としており、自然へのホスピタリティを基本コンセプトに、自然・生物と共存する健康な森林を再生し、自然環境と一体となる「森の中の工場」を新設、従業員が働きやすく、そして地域の住民、来訪者にも喜んでもらえる環境を構築。

荒廃した森林を自然豊かで健康な森林に再生し、従業員、そして地域住民、来訪者にも自然の恵みを感じ、喜んでもらえる環境をつくることで、地域社会への貢献につながった。



品質・価格面で市場性を持つ、「スギシリーズ ウッドブラインド」を開発。
 建築の木質化ニーズが高まる中、「スギシリーズ ウッドブラインド」は、公共施設やオフィス、店舗から住宅まで、あらゆる窓に導入ができ、木づかい心が一目で分かる効果があり、国産木材の利用啓発につながる。今後、各地域の自治体やデベロッパーから、地産地消のニーズが高まる中、指定地域の木材を用いるプロジェクトが増えてきており、対応能力を更に高め積極的に取り組む。
 「木づかい運動」「ウッド・チェンジ」の主旨に賛同し、我が国の脱炭素化に繋がる「スギシリーズ ウッドブラインド」の普及を通じて、国産木材活用の取り組みを推進していく。



木づかいニッポン
B-(3)-160070



【本リリースの問い合わせ先】

ナニックジャパン株式会社 〒151-0061 東京都渋谷区初台2-31-4

担当 江城(えしろう) t.eshiro@nanik.co.jp TEL:03-3370-0729

※ご入用の写真データ、カタログ、資料などございましたら、お気軽にご請求ください。

